

2023年4月27日

従業員のITおよびデジタルリテラシー向上に向けた取組みについて ～「ITパスポート」資格取得者1,000名に到達～

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）では、デジタル化の進展に伴うお客さまニーズの拡大と多様化にお応えするため、従業員のITおよびデジタルリテラシー向上に向けた取組みに注力しております。こうした取組みの一環として、2021年10月より、デジタル社会でのビジネス・生活で必要不可欠な知識・スキルの習得を証明する「ITパスポート」資格取得を進めてまいりましたが、今般、当初ベンチマークとした資格取得者1,000名に到達いたしましたので、お知らせします。（2023年3月末時点、連結子会社を含む武蔵野銀行グループ全体での取得者1,062名）

当行では、今後につきましても、「ITパスポート」資格取得者の拡大に取組むとともに、より専門的なスキル・知識を有するプロフェッショナルとして、「ITコーディネータ」「基本情報技術者」の養成に取組んでまいります。

＜IT・デジタル分野における人材育成・活躍推進の取組み＞

1. 「ITパスポート」資格の取得促進

「ITパスポート」資格を基礎レベルのIT・デジタルリテラシーと位置付け、行内講座の開催やEラーニングの仕組構築などに取組むことで、取得促進に向けた環境を整えております。こうした取組みの結果、2023年3月末時点の取得割合は5割を超えています。

2. プロフェッショナル人材の養成

2023年4月よりスタートした中期経営計画「MCP 1/3」における人材戦略においても、IT・デジタル分野のスキル・知識を、ファイナンシャルプランニングや企業支援に関するそれと同様、高度な専門性あるものと位置付け、資格取得を推進しています。

具体的には、企業のIT化等を支援する専門家として「ITコーディネータ」、銀行におけるDXを推進するエンジニアとして「基本情報技術者」、それぞれの資格を有する従業員の養成に取組んでまいります。

3. IT・デジタル分野におけるお客さま支援

「ITパスポート」や上位資格の「ITコーディネータ」「基本情報技術者」取得者が中心となり、お取引先企業における生産性や付加価値向上などに繋がるようなIT・デジタルを活用した各種提案に努めていくことで、持続的成長をサポートいたします。

また、当行では、お客さま向けデジタルサービスやDXに関する取組みをより強化・拡充し、あわせて、行内業務のデジタル化を一層加速させていくため、4月に「デジタル推進部」を新設いたしました。同部におけるプロフェッショナル人材の育成・配置を進めていくことで、先進的で利便性の高いサービスやソリューションを創出していきます。

* 「ITパスポート」「基本情報技術者」は独立行政法人情報処理推進機構が実施している国家試験です。
「ITコーディネータ」は特定非営利活動法人ITコーディネータ協会が試験・育成を行っている経済産業省推進資格です。

報道機関からのお問い合わせ先
人事部 羽生田 政弘
TEL (048) 641-6111 (代表)

以上